

Table with 4 main columns: 事務事業名 (農業集落排水使用料賦課・徴収事務), 担当 (建設部 下水道課 農業集落排水係), 政策名 (D 自然と潤いがある安全快適なまちづくり), 電話番号 (0285-83-8144), 施策名 (2 下水道事業の推進), 基本事業名, 法令根拠 (真岡市農業集落排水事業の設置等に関する条例), 事業期間 (単年度のみ, 単年度繰返 (開始年度 昭和62 年度~), 期間限定複数年度 (年度~ 年度)), 予算科目 (10. 農業集落排水事業特別会計, 1. 農業集落排水費, 1. 農業集落排水費, 1. 農業集落排水管理費), 事業概要 (農業用排水の水質保全と農村環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与することを目的に設置された農業集落排水処理施設の、維持管理費用に充てるため使用料を徴収する事務である。なお、平成19年5月賦課分から賦課徴収事務を真岡市水道事業管理者に委託している。真岡市水道事業管理者では、平成22年度から民間委託とした。)

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

Table with 4 main sections: ①手段 (主な活動), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ③意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか), ④結果 (どんな結果(上位施策)に結びつけるのか). Each section includes a description and a table of indicators (活動指標, 対象指標, 成果指標, 上位成果指標) with columns for 名称, 単位, and years 20-24.

Table (2) 総事業費の推移. Columns: 投入量 (事業費, 人件費), 単位, 20年度(実績), 21年度(実績), 22年度(実績), 23年度(実績), 24年度(見込). Rows include 国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他, 一般財源, 事業費計(A), 正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B), and トータルコスト(A)+(B).

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

Table with 3 rows: ①この事務事業を開始したきっかけは何か? (市民の生活様式の変化に伴い、生活排水が農業用水や河川に流れ込み水質が悪化してきた。そのため、農村地域の集落(区)単位に生活排水を浄化する必要があり、農業集落排水事業を導入し、生活排水の浄化を図ったものである。), ②事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等)はどうか? (供用開始地区が増えたことにより、賦課徴収戸数が増えている。計画戸数合計 2,721戸 当初(昭和62年度)賦課徴収戸数 52戸 23年度賦課徴収戸数 2,188戸。地区名 旧真岡市 飯貝・昭和62年度 小林・平成元年度 粕田・平成5年度。供用開始年度(8地区) 小貝川東部・平成8年度 大沼・平成10年度 東郷・平成12年度。東大島・平成13年度 両沼・平成16年度。旧二宮町(3地区) 二宮・平成10年度 鹿物井・平成11年度 二宮東部・平成21年度。真岡市水道事業管理者において、平成22年度から賦課徴収事務を民間に委託している。), ③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 適正な生活排水処理による生活環境の向上と環境保全は重要な施策である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 農業集落排水施設使用者から使用料を徴収し、維持管理費用に充当するため。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 対象は、農業集落排水施設使用者である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 賦課徴収事務を真岡市水道事業管理者に委託しており、未納対策も最も効果的な上水道給水停止で実施している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 財源が確保できないため、施設の維持管理が困難となる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 水道料金賦課徴収事務
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない 賦課徴収事務を真岡市水道事業管理者に委託している。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 賦課徴収事務を真岡市水道事業管理者に委託しており、これ以上削減はできない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 賦課徴収事務を真岡市水道事業管理者に委託しており、これ以上の削減は困難である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 農業集落排水施設使用者からの使用料徴収であり、公平公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 経費削減のため、農業集落排水使用料賦課徴収事務を真岡市水道事業管理者に委託しており、今後も継続する。	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							